

つてきた。しかし、この本。私はサツカーに詳しくないので川島さんを全く知らなかったけれど、彼が英語に向き合おうとする姿勢は、他の英語本にはない自力が満ち満ちています。この本を開く度に、このままではいかん！とヘッドフォンやスピーカーから音楽を捨て、英会話集を耳にする毎日です。

『ピーター・フォーク自伝「刑事コロンボ」の素顔』
P・フォーク 東邦出版
田中雅子訳

☆すみませんでした。と最初に謝ってしまおう。ピーター・フォークは昔から好きな役者だったのだが、こんなに楽しい男だとは知りませんでした。しかしこれだけスイスイ楽しく読める自伝も珍しい。自伝というより、小粋なジョーク集といった趣だ。しかしまさか彼がスパイ

になろうとCIAの面接を受けていたとはなあ。(1分4秒で落ちたけど)色々やっちゃう人なんだなあ。

その行動力は役者になってからよりヒートアップ。特に尋常じゃないのが「刑事コロンボ」の時だ。用意された衣装が気に入らなくて、あのレインコートも靴もネクタイも自前のものを引っ張り出した。自分のなんだね、あれ。お手入れも自分でして。特に事件解決の糸口を探す話はこの本の白眉だ。ある糸口のネタを通じていた歯医者の雑誌で見つけ、その雑誌を盗んで帰り、5年後にそのネタを使った上、その雑誌を実際に小道具



ピーター・フォーク自伝「刑事コロンボ」の素顔
装丁・柳沼博雅(ゴート)

の好きな人なんだな。エミー賞の像を帽子かけに使う豪快なカミさんや交友のある業界人の話もゆかいなものばかり。他人のエピソードを語ることでむしろ彼自身の魅力が引きたつ。読んだらこんな楽しい男

と友達になりたくなる。そんな自伝である。
(大方直哉・ズボン は右からは社員47歳・仙台市)

『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』
大島幹雄 祥伝社

☆著者の大島幹雄さんは、早稲田の露文科出身で、現役のサーカスプロモーター兼プロデューサーだ。
本作は、その大島さんが、1988年にソ連のサーカス研究家から、見せられた3枚の日本

人サーカス芸人の写真に衝撃を受け、その消息を尋ねた労作である。
写真とは、1枚は、イシヤママ。日本人の夫とロシア人妻娘、息子らしき4人のもの。そ

して、「タカシマ」は、くわえた太鼓のバチの先で毬をあやつる男の1枚。さらに、3枚目「ジマダ」は、2本の平行な鉄線の上で、3人の男が、驚異的なアクロバットを演じているもの。

彼ら芸人たちが、明治維新後、ロシアにわたり、各地で活躍していたというのだ。彼の地は、日露戦争、第一次大戦、ロシア革命と激動していく。その時代の波の中で彼らの消息は消えて

しまう。歴史に翻弄されながら、異国の地でたくましく生きていった芸人たちの姿が、大島さんの丹念な調査と、時々々の幸運で、よみがえっていく。
私が驚かされたのは、チェー

『自省録』M・アウレリウス／神谷美恵子訳／岩波文庫

☆この本、実は数年前に読了していたのですが、今回手に取ったものがたまたま神谷美恵子さんの訳だったため、彼女の大ファンの私としては、もう一度トライしてみたい気になったのですね。

寝る前、布団の中で少しずつ読んでいますが、人名などの横にいちいち注釈が多く、そのたびに巻末にあるそれを見て、また本文に戻るとその作業にうんざりしてしまつた私。なので今は「はいはい、マクシムスね。たぶん友達なんやろね」と勝手に解釈し、どんどん読み進めておりますが、それでとくに不都合なこともないです。

しかし、マルクスさん。一日を王としての勤めに費したそのあとに、なおこのような難しいことを考え、記しておられたとは。まったくもって、あーたは何を楽しみに生きておられたのか。ハメをはずすことなどはなかったのか？ 王様だからといっていばることもせず、むしろ

今年とついでついでに歴史上のベスト1だ!?

嫌な目にあつても笑顔を保ちやまず泰然としておられたその姿からは、現代のサラリーマンの悲哀に似たものすら感じられるし。

マルクス・アウレリウス。尊敬はするけど、妻になるのはゴメンだな、と思った私。ま、あちらも同じことを言われるでしょうけどな。

んで、そっか。ベスト1の理由ね。えーと：立派だからです。今年ベスト1というより、歴史上のベスト1と言ふべき作品ではないでしょうか。
(キーパー・バツイチ家事職人51歳・西宮市)
『新釈古事記』石川淳／ちくま文庫

☆今年には選宮の年だったので、神社関係の本や雑誌がにぎやかでした。そんな折、出雲大社に行くことになり、当日朝、自宅を持っていく本を物色。やはりここは古事記かな、たしか文庫版があったはず、と見つけたのがこれ。古い本なのに紙はまだ白くてきれい。くさくもないし。

出発するやいなや、電車の事故で新幹線に間に合わなくなり、東京駅から出雲まで同行者を追いかけ、思いがけなく一人旅です。7時間の車中、手持ちはこの本だけ。読み終わったら大変と、文章を手繰るように、ゆっくりゆっくり読み進めていくと、水が流れるように物語がすすると頭の中に入ってくるんです。絵巻物を見ているみたい。出雲の国ゆずりのところの、大國主命とその息子たちの、欲のなきというか、やる気のなきには笑っちゃいました。

今年、読んだなかで、ともに一番親密な時間を過ごした本なので、ベスト1にしたいと思えます。
後日、新刊書店でまったく同じ装丁でならんでいるのを見ました。(染井まき子・主婦57歳・鶴ヶ島市)

帯広六花亭包装紙でお馴染み
坂本直行 山の画文集
『原野から見た山』定価4384円
『雪原の足あと』定価3990円
茗溪堂 山の本

〒101-0061 千代田区三崎町3-2-13
TEL 03-3221-1870
http://www.din.or.jp/~meikeido/

まぶしい青春に胸キュンだあ!

ながら読み進めまし
た。

君は絶対落語家になる。応援してい
るからね。

『その青の、その先の』 椰月美
智子/幻冬舎

☆いけてない青春時代を過ごした
私としては、最初は「いいねえ、
君達楽しそうで、仲良しグループ
の輝ける青春ね」ってな印象でし
た。それでも教室カーブスト制と
か、大切な親友でも疎ましく思っ
たり、友人の美点をすごく尊敬し
ながらも、心のどこかでちよつと
軽蔑する気持ちとか、妬みとか、
周りの友人は、みんな将来の夢が
あるのに、やりたい事が見つから
ない焦りとか、そのことから遠く
離れた今でも、分かるわあと頷ぎ

登場人物が皆魅力的で、まひるは
とっても良い子だし、何より彼氏の
亮司君が、若いのに自分のやりたい
事をしっかりわかっている、こんな
子ならうちの娘の彼氏候補に挙げた
いと思うくらいいめちやくちや良い
奴。だからこそ後半、突然彼を襲っ
た人生の嵐に心を痛めました。でも
でも、ここでもまひるは健気で強く
て眩しいくらいまっすぐで、応援せ
ずにはいられません。病室での出来
事には心打たれておかしくて、落涙
しました。

野鳥のような声を出してしまった
まひるの最高! しかも2回も。亮司
君は絶対落語家になる。応援してい
るからね。
(対野延子・会社員53歳・新見市)
『島はほくらと』 辻村深月/講談社
☆なんだかキラキラまぶしい表紙。
離島の高校生青春か、うーん自分
とは全く重なることはないが、本
誌での評価も気になるしと手にと
った本。読み進めるにつれて、登場
人物の1人であるヨシノさんにひき
つけられた。女30、仕事へのモチベ
ーションをもっと高めなければ!
地方での生活の楽しさ、そして難し
さを読んでいて考えさせられた。青
春部分もキュンキュンです。
(秋田良子・公務員兼お母ちゃん33
歳・筑西市)

ホフが「かもめ」初演の失敗に
より、失意の底にあった時、再
演を企て、新演出で大ヒット作
に押し上げた、後に世界的な演
劇人となる、スタニスラフスキ
ーの家に、日本人サーカス芸人
一家が、長期間逗留していたと
いうことだ。

「かもめ」に先立つこと10年。
当時スタニスラフスキーは、オ
ペレッタ「ミカド」の準備中だ
ったという。つまり、日本のサ
ーカス芸人が、スタニスラフス
キーをはじめ、ロシア演劇界に
大きな影響を与えたということ
である。彼らは、それらのこと

を淡々と日常的に行っていたの
だ。なんとというパワー、バイタ
リテイであろうか。
翻って日本では、不景気が続
き、縮み思考に陥り、若者たち
は委縮し、海外留学生も激減し
ている。今こそ、明治のサーカ
ス芸人のフロンティア精神に刮

目するべきではないか。
(野山雅史・やつと大阪に帰れ
た会社員56歳・豊中市)

『株貧困大国アメリカ』

堤未果

岩波新書

☆本誌の性格としてこの本をベ
ストワンに推すのは少々場違い
かもしれませんが、日本人すべ
てにとつての必読書と信じて推
薦します。今までアメリカは世
界一豊かな国だと思われてきた
のですが、実は驚くべき貧困が
広範囲に存在する事実は、どん
な近未来小説やホラー小説でも
敵わない激しい恐怖を感じさせ
られます。アメリカという超大
国の基本機能が、民間の大資本
によつて次々と乗っ取られて行
くのです。あの善良そうなオバ
マ大統領の本当の才も、TP
Pの本当のねらいもよく分かり
ます。次の貧困大国は二ホンで
す。アメリカの二の舞とならぬ

よう、まず本書を読み、それか
ら考え、行動したいものです。
(田ヶ谷雅夫・大学講師82歳・
甲州市)

家族小説が好きだが、それに通
じる人生のほろ苦さが、そして
感動が見事に描かれている。今
年1番のお薦め本だ! 単身赴
任者の必読書だ!

R・ジョイス
坂井よし子訳 講談社

の気合いで読んでみた次第で
す。もちろん、財力も知力もな
い一読者ですから、マネは無
理。この道20年以上にわかだ

柏原市)

『生理用品の社会史』

田中ひかる

ミネルヴァ書房

りあえず20代の頃に戻りつつし
かし、若さと老けの間に今日も
翻弄されたりでございます。
(野地真由美・郵便局員39歳・
田中ひかる)

☆単身赴任生活まる5年。仙台
からここ米子に転勤してまる1
年が経った。妻1人子2人(大
学2年男&高校2年女)と接す
る機会も2ヶ月に1回がいいと
ころの状況。そんなとき、山陰
の地方紙の書評欄に本書が取り
上げられており、何か感じるも
のがあって、すぐさま購入し一
気読みした。アン・タイラーの

次点は「人生問題集」春日武
彦・穂村弘 角川書店 200
9年、仙台の古本屋で偶然手に
したが、とほけたやりとりがお
かしい。文系男子の必読書だ!
(石坂文織・会社員51歳・米子市)
横村さとる 幻冬舎文庫

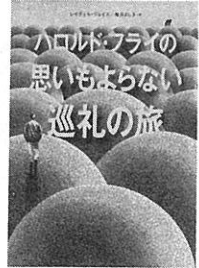
『3年後のカラダ計画』

横村さとる

幻冬舎文庫

☆「スタイル・ノート」の後作。
同世代の人なら、女性なら知っ
てるマンガ家さんの大人ダイエ
ットの本です。

しかしこれほどドラマタイツ
クな歴史があったとは!! 著者
の言うとおり、生理用品に触れ
ずして、女の歴史は語れないと
感じた。中身の濃い学術書だが、
わかりやすい文章で一般向けに
発信してくれた著者に感謝。次
作にもおおいに期待したい。



装丁・坂川栄治
+坂川朱音(坂川事務所)

とうとう30代もラストイヤ
ー。子供も中学生になってくれ
たので、「お母さん」役割一ピ
リオド通過の今、そうですウエ
イトコントロールと、老けとの
競争に参戦するのだ! とばかり

3年後の
カラダ計画
Live Body Planning
CD・松岡史恵

谷区)